|  |
| --- |
| ここに示している様式は一例であり、より重点化したり、より端的に記載したりすることも考えられます。目標に照らして観点別の評価を行う上で必要な要素が盛り込まれていれば、語順や記載の仕方等は必ずしも例示の通りである必要はありません。 |

第〇学年社会科（地理歴史・公民科）　学習指導案

【社会科、地歴・公民科学習指導案様式】　　単元の内容や時間のまとまりを見通して、授業をデザインします。

指導者　　＊＊　＊＊

１　単元名　　　＊＊＊＊＊＊

**中学校・高等学校：２～４つに分けて表します。**

「知識及び技能」の文末　「～理解する」

「思考力、判断力、表現力等」の文末　「～を考察し、表現する」

「学びに向かう力、人間性等」の文末　「しようとする態度を養う」

**小学校：一文で示します。**

(1)～(3)と分けずに一文で示し、(1)～(3)の内容を入れます。

※詳細は国研の資料を参照。

２　本単元の目標

（１）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

（２）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

（３）＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

３　単元の評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ | ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ | ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  本単元（題材）の目標を基に、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（国立教育政策研究所）を参考に作成します。 |

４　単元について

(1)～(3)と項立てしないで、段落ごとに書いてもかまいません。

（１）教材観

単元のねらいと他学年との関連を入れて、単元構想の意図について記述します。

（２）児童生徒観

本単元につながるこれまでの学び、県学力診断のためのテストの結果やレディネステストなどの実態調査（できるだけ数値化したもの）から、本単元における児童生徒の身に付けたい資質・能力などを記述します。

（３）指導観

児童生徒観に書かれた課題を受け、単元のねらいに迫るための指導上の手立てを記述します（カリキュラム・マネジメントを意識した手立てなども入れていけると、なおよいでしょう）。

５　単元の指導計画（５時間扱い）　　　　　　**○は指導に生かす評価場面、◎は記録に残す評価場面**

観点別の学習状況についての評価は、毎回の授業ではなく単元や題材など**内容や時間のまとまりごと**に、それぞれの実現状況を把握できる段階で行うなど、評価する場面を精選することが重要です。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 次 | 時 | 学習内容・活動 | 知技 | 思 | 態 | 評価及び評価方法等 |
| １ | １  ２ | |  | | --- | | 問題（課題） |   ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  小学校は**問題**  中学校・高等学校は**課題**  育成したい資質・能力や主体的・対話的で深い学びに関わる**主な活動**を入れます。**（※１）**  単元の学習問題（学習課題）  ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  まとめ（結論） | ○ |  | ○ | 知：（◎記録に残す評価場面までにこの段階では何を理解しているとよいのか）について見取り、理解していない児童生徒には（理解できる様にするための手立て）を講じる｡　　【ワークシート、観察】  態：（学習活動に）向かっていない児  童生徒を見取り、(活動に向かうための手立て）などの指導を行う。  【観察】  ○指導に生かす評価場面は、単元の評価規準を（１時間ごとや）まとまりに落とし込み、何について見取るのかを具体で表すと共に、Ｃと判断される児童生徒についての手立てを示します。 |
| ２ | ３ | |  | | --- | | 問題（課題） |   ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊   |  | | --- | | まとめ（結論） | | 〇 |  |  | 知：（◎記録に残す評価場面までに、この段階では何が身に付いているとよいのか）について見取り、身に付いていない児童生徒には（身に付くための手立て）を講じる｡  【ワークシート、行動観察】  本時には、指導上の留意点も記述します。**（※２）** |
| ４  本時 | **目標：＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊**  本時の目標をゴシック体・太字で記述します。  １　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊   |  | | --- | | 問題（課題） |   ２　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  その時間に育成する資質・能力を達成するための問題（課題）を設定します。  ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ３　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  正対します。  ４　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊   |  | | --- | | まとめ（結論） |   ５　＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ | 矢印の整合性を意識してください。  ◎ | ○ |  | まとめと振り返りは違いますので注意しましょう。  ・１人１台端末を使用し、全体での意見共有を促す。  思：（◎記録に残す評価場面までに、この段階では思考・判断・表現しているとよいのか）について見取り、できていない児童生徒には（できるようにするための手立て）を講じる｡　　【ワークシート】  ・～する。  児童生徒への働きかけ、配慮事項等を記述します。  知：～している。  【ワークシート、小テスト】  まとめ（結論）が評価に結びつくようにします。 |
| ３ | ５ | |  | | --- | | 単元の学習問題（学習課題） |   ・＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊  ＊＊＊＊＊＊＊＊＊  単元の最後なので、単元を貫く問いに対してまとめるとともに、単元を通して何を学んだか、児童生徒が振り返る時間を設けます。   |  | | --- | | まとめ（結論）  振り返り | |  | ◎ | ◎ | 思：～している。【ワークシート】  態：～しようとしている。  【ワークシート、活動の様子】  単元を短く設定した場合、記録に残す評価（◎）で終わらず、次の単元につなぐ場合もあります。 |

**※１**　指導計画は、単元のまとまりを見通し作成します。したがって、学習内容・活動の欄には、その時間に育成したい資質・能力や主体的・対話的で深い学びに関わる主な活動を入れます。

**※２**　授業公開等を行う場合は、「本時」について、学習内容・活動を詳しく示したり、評価及び評価方法等の欄に配慮事項を加えたりするとよいでしょう。